

ちりふ文化

第176号

2025年6月1日

発行所 知立市文化協会

知立市文化会館内
(パティオ池鯉鮒)

TEL 0566-83-0151

FAX 0566-83-0242

http://chiryu-bunka.org/

メール：chiryubunkyou@katch.ne.jp

つどい 花咲く 文化協会

令和7年度 総会

4月19日(土)、パティオ池鯉鮒花しょうぶホールにおいて、知立市文化協会の総会が開催されました。

令和6年度事業報告、決算報告、令和7年度事業計画案、予算案が全会員一致で承認されました。新たな理事も同意が得られました。

総会後には運営委員会が開催され、年間計画等の確認、各事業を推進する部会の実行委員で事業の運営内容の打ち合わせをしました。

本年度は知立市文化協会創立55周年事業として記念公演「よいとこ池鯉鮒、魅せまSHOW TIME」が11月9日(日)にパティオ池鯉鮒かきつばたホールで開催されます。素晴らしい舞台となるよう会員一丸となって取り組んで参ります。



総会の様子



受付の様子

知立市文化協会役員

名誉会長	石川 智子
会長	近藤 博子
副会長	杉浦 五一 (芸能部門)
	酒井 章帆 (美術部門)
	増田 道博 (創作部門)
	中野トシ子 (茶華道部門)
監査	梶山佳依子
計	竹本 瑛子
	住田三枝子

会長の挨拶

会長 近藤 博子



色彩鮮やかな春の花が咲き乱れ、香り豊かなさわやかな風が心地よい今日の頃、知立市文化協会の総会が、このように盛大に開催でき、大変嬉しく思います。

お忙しい中、ご来賓の皆様、会員の皆様にお集まりいただき、有難うございます。また、日頃は文化協会の事業に、ご理解と協力をいただき、誠に有難うございます。

さて、今年は知立市政55周年、文化協会創立55周年を迎えます。皆様と一緒に、「知恵」と「工夫」により、共に築いてきたことは、私たちの誇りです。

今日は、四つのお話をします。

一つ目のお話。今年度は、「心そのものが見えないけれど、心が動けば表情や言葉や行動に心の内が見れる」と「心が動く」をテーマに、活動を行っていきましょう。各種の行事や講座で、参加された方々と感動を共有することで、より心に残る活動になって欲しいと願っています。「動かなければ出会えない縁」を大事にして、まず、「動くこと」、「出掛けること」、「やってみること」。一歩を踏み出す行動で、新たな気づきが生まれます。

目の前の忙しさに追われることもあるでしょうが、文化協会の事業の中で、行事が次に進むヒントになるかもしれません。宣伝となる「チラシ」や「ホームページ」を参考にして、是非、足をお運びください。新たな出会いと感動を一緒に味わいましょう。特に、今年度の大きな事業として、11月9日の日曜日に、パティオのかきつばたホールで、文化賞等の表彰式・永年特別者の表彰式後に、文化協会55周年記念公演を予定しています。「よいとこ池鯉鮒、魅せまSHOW TIME」と題し、美術部門、茶華道部門が中心となり、知立の魅力を集め、磨き上げた技を結集して、ひと味違う文化協会の姿をお見せします。是非、お越しいただき、お楽しみください。

二つ目のお話。「ヤワラカアタマ」という言葉を聞いたことがありますか。この言葉は「ほけないための生活習慣」だと、友人から聞きました。「ヤ」は自分の

役割を持つ、「ワ」は笑う、「ラ」は愛する、恋するのラブ、「カ」は会話をする、「ア」は歩く、「タ」は食べる、「マ」は学ぶ。まさに、皆様が日頃から実践されてみえることではないでしょうか。私はこれに「ヨ」、余白のある生き方を加えてみました。心に余白、余裕を持ちたいものです。改めて、時間を有効に使い、生活習慣を見直してみましよう。

三つ目のお話。「健康寿命」を延ばすことが大事だと言われていますが、今は「貢献寿命」という考え方が注目されています。一人ひとりが役割を持って、社会と繋がりが、誰かのためになっていると感じられる期間を指すそうです。高齢になっても社会とかわり、世の中に貢献する期間を延ばそうと提唱されています。まさに、文化協会の皆様が大事にしていることです。

四つ目のお話。今年は「巳年」。蛇年です。蛇は後退しません。高浜虚子の弟子の山口誓子の俳句に「ただ前へ 前へと進む 蛇の紋」という句があります。これからの知立の未来に向けて、皆様との対話を大切に、前へ前へと進んでいきます。特に、「乙巳」この「乙」と「巳」の二つの組み合わせで、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよい年だそうです。その縁起にあやかり、「やれることは全てやる。失敗は恐れない。前進あるのみ」で頑張らましよう。よろしくお願いたします。

市長・副市長・教育長を囲んで

理事会後、市長・副市長・教育長を囲んでの懇親会が和食酒家「縁」で行われました。この機会に、文化協会に期待することを尋ねました。皆さん、文化協会の事業に期待されてみえます。より一層、がんばりましょう。



市長・副市長・教育長を囲む会

石川智子市長
心の豊かさを育む取り組みを、これからも願います。

松永直久副市長
前進あるのみ。文化の発展と継承をお願いします。

宇野成佳教育長
異文化を取り入れ、日本文化と融合させ、新しいものを作っていただきたい。多文化共生。

昨年12月に、知立市初の女性市長が誕生しました。石川市長を詠んだ短歌（創作部門）立春知立短歌会）を紹介します。

知立初 女性市長の 新の風
若き門出は 紙面賑わす



この短歌は、立春知立短歌会が発行している「立春」の一月に互選で一位になった「清水あさ子」さんの短歌です。

永年会員特別表彰者の紹介

「永年会員特別表彰」の目的は、日頃から、文化協会の活動に参加し、多年にわたり文化振興に寄与した先輩に感謝する賞です。会員通年歴20年以上で、年齢80歳以上の方が対象となり、会長名による感謝状が11月9日（日）の文化賞等表彰式後に、文化協会55周年を記念して執り行われます。

【表彰対象者】

阿部 啓子（芸能・淡草会）
野村 鞠子（芸能・淡草会）
住田三枝子（芸能・愛美会）
鶴野キヨ子（芸能・愛美会）
加藤千恵子（芸能・めぐみ会）
加藤 芳江（芸能・菜の花会）
岡田 浩（芸能・明峰岳風会）
中根 正和（芸能・明峰岳風会）
近藤 弘之（芸能・明峰岳風会）
山本レイ子（創作・草木染）
加藤 郁子（創作・草木染）
武藤 治（創作・陶遊会）

新理事紹介



新理事紹介

芸能部門・吟剣詩舞

理事 池田 雄二



この度、令和7年度文化協会の理事に着任させていただく、池田と申します。

芸能部門の中で、剣詩舞というのは非常にマイナーな分野ですので、新人の加入は少なく、逆に時代と共に高齢化・健康面での引退が増えて居ります。もし、興味のある方がいらつしゃいましたら、ぜひ一緒に稽古をしましょう。

新理事として、会長様をはじめとした皆様の力になれるように精進いたしますので、よろしくお願い致します。

芸能部門・ジャズダンス

理事 三浦 美香



この度、知立市文化協会の理事を務めることになりました、三浦美香でございます。

私は、知立神社神楽保存会とパティオジャズダンスに所属しており、毎年、洋楽のつどいに向け、楽しく練習しています。

知立市の文化芸術をより一層、豊かなものにするお手伝いができること、大変光栄に存じます。文化交流の輪が広がり、皆様が楽しく集い、打ち込んでおられる文化芸術が、美しく凛と花咲くように願っております。よろしくお願い致します。

美術部門・書

理事 丹羽 常見



この度、理事を受けることになりました。美術部門の「書」の部門では、書道連盟のメンバーが減少し、「書」全体で個々のグループの活動を見直し、立て直しを図っております。

文化協会は会員の減少が起ってきているので、理事の皆さんで活性化を図っていく必要があります。微力ながら力を尽くしてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

美術部門・書

理事 杉浦 寿子



長年、文化協会の「書」の部門でお世話になっておりますが、この度理事のお役をお受けすることになりました。

文協のスローガンのように「つどい花咲く」活動のお手伝いができるように、まずは自分自身が楽しんで取り組んでいきたいと思っています。

知立の文化の発展にご尽力されている諸先輩方のお仲間になり、刺激を受けながら成長していきたいです。よろしくお願い致します。

退任理事紹介

理事 浜野 春瑛

（美術部門・書）

理事 白井 恵子

（美術部門・書）

理事 宮本 夏子

（芸能部門・吟剣詩舞）

理事 佐々木 美佐子

（芸能部門・ジャズダンス）

文化協会の理事として、本当にお世話になり、有難うございました。退任されても、色々開催される事業には進んで見に来て頂き、文化協会を引き続き支えていただきますよう、よろしくお願い致します。

変貌する知立駅周辺

創作部門 CNK・EIZO

中野 保

空撮により、知立駅周辺を毎月定点観測実施。



知立駅北側



美術部門



華道部門



創作部門

2025年
第47回

知立市文化協会会員による作品発表と市民体験型の文化の祭典

知立市民文化のつどい

とき 6月7日(土)・8日(日)・14日(土)・15日(日) 10:00～17:00
(日曜日は16:00まで)

ところ 知立市中央公民館

文化協会会員による 作品発表

美術部門

(日本画・水墨画・
洋画・写真・書)

6月7日(土)・8日(日)



創作部門

(文芸・工芸・展示)

6月14日(土)・15日(日)



華道部門

(池坊・草月流・
日本華道松月・真生流)

6月14日(土)・15日(日)



呈茶

6月14日(土)
10:00～15:00
裏千家 森宗玲

6月15日(日)
10:00～15:00
裏千家 野中宗隆



体験コーナー

水墨画・四君子 の竹を描こう!

6月8日(日)
10:00～12:00
講師:悠々会



小さな糸かけ体験教室

6月14日(土)
①10:00～11:00
②13:00～14:00
講師:市石真奈美
(糸かけ曼荼羅)



生け花 体験教室

6月14日(土)
10:00～12:00
講師:池坊 赤尾栄子



煎茶体験教室

6月15日(日)
10:00～12:00
講師:売茶流 近藤良子



申し込み方法など詳しくは
知立市文化協会ホームページを
ご覧ください。



「こどもニコニコひろば」

作ってあそぼう! ～影絵遊び～

6月7日(土)
10:00～12:00
講師:刈谷・知立・安城おやこ劇場



「人形劇団ぺぽ」の公演

6月8日(日) 13:30～14:15

上演作品 はらぺこおおかみとぶたのまち 他
出演:人形劇団ぺぽ



知立市文化協会について

知立市文化協会は、昭和46年に創立し、現在、
大人と子どもを合わせて1,000人の会員が、芸
能、芸術、文化活動とあして様々な事業を運営
しています。

随時、会員の募集をしています。「何か趣味を
見つけたい」と思われる方は、下記までお問合せ
ください。

■ 主催 / 知立市・知立市教育委員会・知立市文化協会 ■ 後援 / 中日新聞社・㈱キャッチネットワーク・(一財)ちりゅう芸術創造協会
■ 問合せ / 知立市文化協会事務局 TEL : 0566-83-0151 FAX : 0566-83-0242

アートで出会い、アートで繋がる

第26回

しみん芸術祭

2025



期間 令和7年6月～令和8年3月
会場 知立市文化会館（パティオ池鯉鮒）

入場
無料



文化協会会員と一般市民参加者による各種の発表

6.29日
10:00～

● 吟剣詩舞・大正琴のつどい

場所 かきつばたホール

8.3日
14:30～

● C・R・F（ちりゅうロックフェスティバル）

場所 花しょうぶホール

9.14日
13:30～

● 洋楽（音楽・舞踊）のつどい

場所 かきつばたホール

10.2日
～5日
10:00～17:00
（最終日は16:00まで）

● 第40回知立市美術展
● 第20回小中学生美術展

場所 ギャラリー・花しょうぶホール・
ワークショップ室

10.12日
14:00～

● 市民音楽祭

場所 かきつばたホール

10.18日
13:00～

● 邦楽・日本舞踊のつどい

場所 花しょうぶホール

10.25日
13:00～

● 民謡・歌謡のつどい

場所 花しょうぶホール

11.1日
～2日
10:00～16:30
（最終日は15:30まで）

● 創作部門展（文芸・工芸・展示・映像）

場所 ギャラリー・花しょうぶホール・
ワークショップ室

11.2日
12:30～

● 民謡のつどい

場所 かきつばたホール

11.7日
～9日
10:00～16:30
（最終日は16:00まで）

● 美術部門展
（日本画・水墨画・洋画・書・写真）

場所 ギャラリー

11.9日
10:00～16:00

● 市民茶会（茶道部）

場所 和室・ロビー・ワークショップ室・
茶室（知心庵）

● 文化賞・文化奨励賞・
文化芸術新人賞表彰式

● 文化講演会

場所 かきつばたホール

55周年記念公演（14:00～15:30）

知立市文化協会
55周年記念公演
よいとこ池鯉鮒、
魅せまSHOWTIME
知立の魅力、総結集！



11.9日
13:30～15:30

12.14日
10:00～

● 演劇フェスティバル イン ちりゅう

場所 花しょうぶホール

令和8年
3.7日～8日
10:00～16:00

● 市いけ花展

場所 ギャラリー



■ 主催 / 知立市・知立市教育委員会・知立市文化協会 ■ 後援 / 中日新聞社・(株)キャッチネットワーク・(一財)ちりゅう芸術創造協会
■ 問合せ / 知立市文化協会事務局 TEL : 0566-83-0151 FAX : 0566-83-0242



知立駅開かずの踏切



知立駅岡崎方面高架



知立駅北側

親睦研修旅行に 参加して

創作部門（草木染）

内山 美智子

3月3日（月）おひな祭り。当日、私は親睦研修旅行に行きました。世の中では、久しぶりの大雨で嬉しい日だったと思いますが、旅行に行くには大変な一日となりました。

行先は、浜名湖方面の「掛川城」と「掛川花鳥園」。掛川城には20年前になりますが、一度行っていますので、今回二回目となり、とても楽しみにしていきましました。他のお城に比べて、非常に小さいお城ですが、さすがお城。雨の中でしたが、高くそびえ立つ姿は凛としていて、全く昔見た風景と変わらず、当時の思い出がよみがえってきました。しかし、階段の上り下りがとてもきつくて、手すりをして、しっかり持ちながら一歩一歩ゆっくりと足を進めました。



掛川花鳥園



掛川城



ハシビロコウ

自分では情けなく思っている年齢には勝てないことを痛感しました。昼食後、初めての「花鳥園」に向かいました。入館したとたん、沢山のコウモリフクロウ、アフリカフクロウ、アフリカワシミミズク、クロワシミミズク等々。とても珍しい鳥たち。館内の奥へ奥へと行くと、手乗り慣れた小鳥たちの集団が目にとまりました。エサ欲しさもあり、手、頭、肩に怖いほど乗ってきました。サギやペリカンなども人にとっても慣れていた近くに寄ってきました。今の時期には珍しい沢山の熱帯スイレンの花。トランペットエンジェルやブルーゲンピリア等が咲き誇り、とてもきれいでした。また、館内では「バードショー」が開催されていて、ペンギンのチョコチョコ歩き、フクロウの輪くぐりなども見られました。帰りは雨も上がり、遠くの方で夕焼けも見られました。バスの中では、役員さん方のご配慮により、カラオケ、ゲームなどで、楽しませていただき、退屈することなく過ごすこともでき、とても楽しい一日でした。



集合写真

直撃インタビュー

洋画家 元文化協会会長

高須 昭宜さん

油絵を長年続けてこられて、また、知立市文化協会の会長としても、ご尽力された高須昭宜さんにお話を伺いました。

油絵を始めたきっかけは、「もう、覚えてないよ」と言われていたが、ずっと好きで、毎日描き続けてこられたそうです。「アトリエにモデルを呼んで、自分の好きな時間に描いていたから続けられたのかな」と言われていました。時には、四時間くらい描くこともあるそうです。

今もお元気なのは、好きな絵を楽しんで描いているからだと思っています。

知立市美術展には、第一回から出品し、今までに大きな賞では、「県知事賞」、愛知県文連美術展で、「特選」（50号「亜嬢」）を受賞されてみえます。

人物を描くのが好きで、モデルにいろいろなポーズをとってもらって、「これだ!」というのを決めるそうです。決めるまで、じっくり時間をかけるのだそうです。絵の基本的な構図の取り方や光がどちらから当たっているのかなど、絵の見方も教えていただきました。ちなみに、好きな色は、「サップグリーン」だそうです。また、高須さんは平成19年から

知立市文化協会の会長として6年、その間、県文連の副会長として、総合審査委員も務められました。

平成20年に文化協会のホームページを開設したり、平成21年には、永年特別表彰などを始められました。併せて、「広報・情報委員会」も立ち上げられました。

今一番印象に残っている文化協会の事業は、平成23年に定期的に文化協会枠でピッチFMの放送を開始した事だそうです。それが終わってしまったことは、本当に残念だったと言われていました。宣伝効果が大きいので、ずっと続けて欲しかったとおっしゃられました。

今後の文化協会に望むことは、広報活動。文化協会がこういう活動をしているのか、多くの人によく知ってもらって、いろいろな事業に、楽しんで、来てもらえるようにして欲しいとお話される姿から、文化協会に対する強い気持ちが伝わってきました。

美術部門（書） 白井 恵子



高須さん(左)

会員だより

入会部会紹介（7部会）

☆美術部門

・洋画 杉浦 由典 1名

☆美術部門

・書（墨陽会） 加藤 陽苑 10名

・書（永田珠山） 永田 珠山 1名

・書（丹羽篆刻教室） 丹羽 常見 3名

・書（麗水会） 杉浦 寿子 3名

☆創作部門（プラモデル）

・Chiryu scale model CLUB 林 尚文 1名

☆芸能部門（洋楽）

・ティン・ホイッスル ジェイ
ケルティック 神野 仁志 1名

☆芸能部門（邦楽）

・ちりゅう和太鼓クラブ 和楽和楽
大人2名 小人11名

退会部会紹介（4部会）

☆茶華道部門

近藤美恵子 1名

☆芸能部門

・剣詩舞（壮心流） 宮本 夏子 5名

・民謡（長篠会） 佐藤 まき 3名

・民謡（すみれ会） 加藤 芳江 6名

公演紹介

◇知立の山車文楽と

からくり保存会公演

・7月6日（日）

14時開演（13時半開場）

・パティオ池鯉鮒

花しょうぶホール

・全席自由 入場無料

知立まつりで奉納される山車

文楽と山車からくりは、2年に

一度ですが、このパティオ池鯉

鮒花しょうぶホールで行われる

公演は毎年上演されます。この

公演は神社の境内ではなく、ホ

ールの座席から観覧できます。

本町、西町（からくり）、宝

町、山町、中新町それぞれ各演

目の始めにゲスト解説者の奥中

康人氏（静岡文化芸術大学教

授）による解説があり、時代背

景や見どころが、より分かりや

すくなっています。ぜひ、この

機会に山車文楽とからくりの奥

深さをご堪能ください。



知立山車文楽

◇知立市文化協会55周年記念公演

「よいとこ池鯉鮒、魅せま

SHOW TIME」

・11月9日（日）

文化賞等の表彰式後

（14時開演／15時半）

・パティオ池鯉鮒

かきつばたホール

・全席自由 入場無料

今回、美術部門と茶華道部門

が中心となつての公演です。三

河弁を話す旅のガイドと、はる

ばる異国から来た女性が知立の

文化に触れるストーリー。異国

から来た旅人にとつて驚きと感

動の連続、コミカルな三河弁ト

ークも軽快に場面展開してい

きます。異なる部門とのコラボ

も見どころの一つ。ぜひ、ご来

場いただき、お楽しみください。



55周年記念公演チラシ

発表会紹介

◇三河正絃社

私どもが所属する「箏曲 正

絃社」が本年で創立60周年を

迎え、9月23日（秋分の日）

の火曜日、御園座に於いて、

記念公演を開

催します。会員

一同、公演に

向けて頑張っ

ています。応

援をお願いし



展示会紹介

◇拓本

・5月16日（金）～6月8日（日）

9時～16時（最終日15時）

・知立神社 儀式殿廊下

◇染色（草木染）

・5月20日（火）～6月1日（日）

（最終日は16時まで）

・知立神社 社務所

◇切り絵（知立切り絵同好会）

・7月10日（木）～16日（水）

9時～19時

初日は12時～

最終日は17時まで

・知立市図書館

・切り絵「思い出の作品展Ⅴ」

事務局から

◇第2回運営委員会

・9月3日（水）18時30分～

◇理事会

・6月11日（水）18時30分～

・8月27日（水）18時30分～

・12月3日（水）18時30分～

・R8 4月8日（水）18時30分～

◇55周年記念公演リハーサル

・8月11日（月）14時30分～

・11月8日（土）

・11月9日（日）リハと本番

※既にお渡ししている別資料を参照
していただき、演技者とスタッフ
の方はよろしく願います。

◇文化賞・文化奨励賞・文化芸術

新人賞の推薦について

8月1日（金）までに、推薦

をお願いします。詳しくは

「広報ちりゅう」の7月号を
ご覧ください。

◇第25回

知立よいとこ祭りについて

・8月16日（土）予備日はなし

（練習日）

・7月23日（水）18時～

・8月6日（水）18時～

パティオ池鯉鮒リハーサル

室で練習します。今年も知立

市役所東側の駐車場で「やぐら

盆踊り」です。2曲踊りますが、

1曲は新曲を予定しています。

◇新年懇話会

文化協会の応援者、賛助会

員、会員同士の楽しい交流会

です。今回、「横断幕」を新調

しました。

とき 令和8年

1月24日（土）18時～

ホテルクラウンパレス

知立

◇「ちりふ文化」の原稿提出

文化協会の会報「ちりふ文化」

は、年二回、6月と1月に発行

しています。掲載の記事をご

希望の方は、11月7日（金）ま

で事務局に提出してください。

あとがき

今年も暑くなつてまいりました。皆様体調はいかがでしょう。心も身体もご自愛ください。今回の会報発行に際し、ご協力頂いた皆様、有難うございました。